

発行／日本小児歯科学会九州地方会事務局(平成26年度)
〒803-8580 北九州市小倉北区真鶴2-6-1
九州歯科大学口腔機能発達学分野
TEL : (093)582-1131(内線)1906 FAX : (093)583-5383

日本小児歯科学会九州地方会 会長挨拶



九州歯科大学口腔機能発達学分野 教授
牧 憲司

本年4月より九州地方会会長を拝命しました九州歯科大学の牧です。会員の皆様におかれましては、日頃より会務の運営及び事業へのご協力、ご助言を賜り、誠にありがとうございます。皆様のご期待に沿えますように努力していく所存ですので何卒よろしくお願ひします。

例年以上に台風が多く発生し、各地で集中豪雨が起っています。被災された方々に心よりお見舞い申し上げますとともに生活が一日も早く復旧されますように祈念いたします。

本部学会である日本小児歯科学会では、本年3月の日本小児歯科学会理事会にて、鹿児島大学山崎要一教授が、理事長に再選され、精力的にさまざまな事業や改革が行われております。地方会との関わりについても再検討されております。九州地方会の在り方を前向きに検討していくために「九州地方会のあり方に関する特別委員会」が、平成22年6月に設置され、現在の状況に則した地方会にするために多くの協議が行われ、日本小児歯科学会九州地方会会則の一部改正が行われました。また一昨年より「九州地方会事業および予算に関する検討委員会」が設置され私が委員長として活動しています。これまでの地方会の経緯、本部学会との関連を踏まえた上で、本年度の事業計画案を下記の7項目を中心に、より充実した地方会となりますように進めていく予定です。

日本小児歯科学会九州地方会事業計画

1. 会員関係

会員の入退会：小児歯科を標榜の開業医、歯科衛生

士の入会勧誘に努める

2. 機構整備に関する検討

①本会の機構、組織及び運営に関する検討

本会の機構、組織の改善により運営の効率化を図るための検討を行う

②諸規則の検討

諸規則、諸規定の検討、策定して整備を図る

3. 学術関係

①日本小児歯科学会九州地方会大会及び総会の開催

②小児歯科学会会員の研鑽と啓発のための勉強会や研修会を企画

4. 専門医・認定医制度関係

親学会と連携しセミナーの開催など健全なる運営、管理ができるように協力する

5. 広報関係

①ニュースレターの発行

本会会務運営の会員への伝達、周知に努める

②九州地方会ホームページの立ち上げと充実

6. 各地方会との協議及び連携

①地方会連絡協議会への出席

②各地方会間の連絡、地方会の問題などを協議し連携を図る

7. 小児医療の連携

こども健康週間などへの協力に努める

会員の皆様のご協力・ご意見をうかがいながら進めていく予定です。

歯科界の現状を考えると少子高齢化社会の激動の時代であり、小児歯科の立場も厳しい状況です。多様化す

る患者様の要求に応じられるように小児歯科医療も様々な角度からさらなる検討が行われる必要があります。このような時代に、開業医の先生と大学がしっかりスクラムを組んで連携をとっていくことは極めて重要です。副会長の奥 猛志広報委員長により九州地方会のホームページの立ち上げが完了し、充実が図られています。会員の皆様と最新の情報を共有できるようにさらに充実させていきたいと考えています。

第32回日本小児歯科学会九州地方会大会および総会

は、私が大会長として本年11月23日（日曜日）九州歯科大学講堂および本館にて開催されます。大会のメインテーマは、「夢のある小児歯科を目指して～九州地方会からの発信～」です。素晴らしい企画が準備されていますので 皆様お誘いあわせの上、多数のご参加をお願い申し上げます。

最後になりましたが、九州地方会の事業にご理解とご協力を賜りまして、今後益々のご支援、ご協力いただきますように、何卒よろしくお願い申し上げます。

日本小児歯科学会九州地方会 副会長挨拶

日本小児歯科学会九州地方会 副会長
奥 猛志



日本小児歯科学会九州地方会の副会長を拝命いたしました奥猛志です。久芳陽一前会長のもとでの副会長に続き2期目を務めさせていただきます。牧憲司会長は、本会の副理事長も兼ね、大変御活躍されており、その牧会長と地方会活動をさらに発展させたいと考えております。

まず、日本小児歯科学会九州地方会の在り方に関する特別検討委員会で整理した問題点について、順次、対応していきます。検討項目にあった、地方会ホームページの作成や九州地方会での小児歯科認定歯科衛生士セッションはすでに確立しました。組織運営上の問題点であった、総会と役員会の日程、会長と監事の選出方法等に対しても対応しております。大学の無い地域の小児歯科学会会員に対する研修への支援・充実は、平成25年12月8日（日）熊本県歯科医師会会館にて日

本小児歯科学会九州地方会学術講演会が開催されるなど、活動を開始しております。

今後の課題として、地方会大会での発表内容はなるべく臨床研究や報告を中心とすること、講演会やシンポジウムの内容を決定する際に親学会や他地方会の企画内容や専門医研修会等の内容を十分に考慮して決定すること、若手の小児歯科専門医や小児歯科認定歯科衛生士の育成支援のため各地域における小児歯科研修の充実を図ること、小児歯科保健の発展・充実のためのデータ蓄積に関して前向きに検討すること、合同地方会の開催、九州地方会の法人化なども今後の検討課題です。

会員の皆様方、2年間どうぞ宜しくお願いいたします。

日本小児歯科学会九州地方会 副会長挨拶



日本小児歯科学会九州地方会 副会長
尾崎 正雄

このたび地方会副会長を拝命しました福岡歯科大学の尾崎でございます。昨今小児の齲蝕は減少傾向にあると言われてはいますが、臨床的にみると口腔機能異常やネグレクトなど、小児歯科医にとってやらなければならないことが山積しています。また、インターネット検索など情報化時代にあつて、地方会がどうあるべきか考える時期にきています。昨年の10月に口腔機能の改善をテーマに地方会を開催しましたが、このテーマへの関心の高さが感じられました。厚生労働省や日本歯科医学会でもこのテーマに対して真剣に取り組も

うとしています。私は、口腔機能異常の改善は、高齢社会である日本にとって必要なことであり全人的にも大事な仕事であると考えています。この実現ためには、小児歯科学会員が積極的に啓蒙に努め、サポートしていくことが必要性です。奥副会長のおかげで地方会にもホームページが立ち上げられ、色々な啓蒙活動が出来るようになってきました。私は、地方会の一員として牧会長をサポートし、九州地区の子供たちと保護者に開かれた地方会を目指して行きたいと思っていますので、ご指導ご鞭撻のほどよろしく願いいたします。

第31回日本小児歯科学会九州地方会大会および総会のご報告

第31回日本小児歯科学会九州地方会大会および総会 大会長
尾崎 正雄

第31回日本小児歯科学会九州地方会大会および総会が平成25年10月20日に、福岡市の福岡県歯科医師会館で開催されました。

本会は、「口腔機能と全身の健康をめざして」メインテーマに、教育講演、特別講演、シンポジウムおよびコ・デンタルセミナーを中心に、一般発表（展示発

表32題（内専門医発表3題）により行われました。当日は天候にも恵まれ、歯科医245名、衛生士その他108名が参加がありました。

教育講演では、筑紫女学園大学人間科学部の酒井均教授には「発達障害のある子の理解と対応」と題するご講演をして頂き、また、九州大学医学部小児歯科の原 寿郎教授には「小児免疫疾患と口腔」と題するご講演をして頂き、発達障害児や免疫疾患への対応法を勉強することができました。その他にも一般シンポジウムで、「実践！筋機能療法」をメインテーマに筋機能療法の先駆者で大野矯正クリニック院長であられる大野肅英史



先生に「MTFの日本への導入から今後の展開」と題する基調講演を、また私尾崎が、「今、小児歯科でMFTが必要なわけ」、大野矯正クリニックの橋本律子さんからは「歯科衛生士によるMFTの実際」と題する実践的な講演をしていただきました。最後に、熊本市中央区役所 保険子ども課の吉良直子先生に「健康はお口から！笑顔あふれるまちづくりー歯磨きの仕上げはいつもベロタッチー」と題する新しい試みについて講演して頂きました。コ・デンタルセミナーでは、鹿児島大学医学部・歯学部附属病院臨床義歯部歯科衛生士部門でご活躍の北上真由美先生に「子どもの口腔成育と食育支援～歯科衛生士の立場から～」と題する講演をして頂きました。各講演者の先生方には心から感謝申し上げます。これらの講演ならびにシンポジウムは大変好評で、多数の先生方からお褒めのお言葉を頂きました。これもひとえに皆様方のご参加のたまものと感謝いたしております。

今回、福岡歯科大学の成育小児歯科学分野が九州地方会を開催できたのも、ご後援を頂いた九州地方会の役員の方のお力と準備委員長をしてもらった本学の馬場講師のお陰です。また、遠路わざわざ展示と広告を頂きました企業の皆様と関係各位に感謝いたします。これを機会に九州の小児歯科医療が益々活性化されることを祈念し、報告の筆を置かせていただきます。



第31回日本小児歯科学会九州地方会総会議事録

1. 開会の辞 牧副会長
2. 会長挨拶 久芳会長
3. 第31回日本小児歯科学会九州地方会大会長挨拶
尾崎大会長
4. 議長選出 福岡市開業の西本美恵子先生が選出された。

議事

- 1) 第30回日本小児歯科学会九州地方会大会及び総会
会計決算報告
行成幹事より報告が行われた。
- 2) 平成24年度日本小児歯科学会九州地方会会計決算
報告
岡幹事より報告が行われた。
- 3) 第30回日本小児歯科学会九州地方会大会及び総会
決算及び平成24年度日本小児歯科学会九州地方会
会計決算監査報告
入江監事より監査報告が行われ、一括して承認された。
- 4) 平成26～27年度役員承認について
久芳会長より役員選出の経緯の説明がなされ、承認された。
- 5) 平成25年度日本小児歯科学会九州地方会予算案について
岡監事より報告が行われ、承認された。
- 6) 第33回日本小児歯科学会九州地方会大会及び総会
開催地について
久芳会長より九州大学の担当で行われることの説明がなされ、承認された。
- 7) その他
5. その他
・平成26～27年度日本小児歯科学会九州地方会
会長および第32回日本小児歯科学会九州地方会
大会長挨拶
牧次期大会長
6. 閉会の辞 奥副会長

第32回日本小児歯科学会九州地方会大会および総会について

大会長 牧 憲司
準備委員長 西田 郁子

第32回日本小児歯科学会九州地方会大会および総会は、九州歯科大学が担当し、『夢のある小児歯科を目指して～九州地方会からの発信～』をメインテーマとして、大会長：牧 憲司、準備委員長：西田郁子で下記の内容で開催されます。皆様のご参加お待ちしております。

1. 大会期日：平成26年11月23日(日) 8:30～17:10
2. 会場：九州歯科大学 講堂および本館
〒803-8580 福岡県北九州市小倉北区真鶴2-6-1
TEL 093-582-1131 FAX 093-583-5383
http://www.kyu-dent.ac.jp/

懇親会会場：九州歯科大学講堂棟1階 17:30～
託児室あり(無料)：

委託先：teno-corporation (株) テノ・コーポレーション
〒804-0067 北九州市戸畑区汐井町1-6 ウェル戸畑3F

フリーダイヤル：0120-400-829 (9:00～19:00)
TEL：093-882-5063 FAX：093-882-5064

E-mail：info@teno.co.jp

http://www.teno.co.jp

平成26年10月31日(金)までにお申込みください。

3. 大会内容：

1) 特別講演

- I 居波 徹 (いなみ矯正歯科)：小児歯科そして成育歯科医療へ
- II 山口和憲 (九州歯科大学 名誉教授)：口呼吸と咬合育成との関係について

2) 教育講演

大野秀夫 (おおの小児矯正歯科)：予防学的視点に立った咬合の成育

3) ランチョンセミナー

福本 敏 (東北大学大学院歯学研究科・小児発達歯学教授)：う蝕予防の新しい考え方～明確な目標を持ったアプローチとは～

4) シンポジウム

「小児歯科の先輩から後輩へのメッセージ」

～地域における子どもたちの健康づくりへのサポート～

コーディネーター：品川光春 (しながわ小児歯科医院)：「小児歯科の先輩から後輩へのメッセージの企画について」

- ① 中尾哲之 (なかお小児歯科)：う蝕の洪水時代からの小児歯科診療を経験して
 - ② 毛利元治 (もうり小児歯科)：小児歯科としての障害児の歯科管理
 - ③ 有田信一 (ありた小児矯正歯科)：歯列咬合の機能と形態の発達の支援を目指して
 - ④ 西本美恵子 (にしもと小児歯科医院)：歯科医院は、安心ステーション
 - ⑤ 柏木伸一郎 (小児歯科柏木医院)：診療室外での予防活動～フッ化物の応用を中心として～
- 5) テーブルディスカッション (機能的視点に立った咬合誘導)
- ① 黒江 和斗 (矯正歯科くろえクリニック)：発育期の矯正治療にできること
 - ② 金 俊熙 ((医)無窮会 きむ矯正歯科クリニック)：哺乳・離乳からの咬合育成
- 6) 歯科衛生士セミナー
「楽しい歯科診療を行う支援ツール“絵本”の利用法」
- ① 大野陽真 (おおの小児矯正歯科)：絵本開発の経緯と絵本を利用した歯科診療の客観的評価
 - ② 田中克明 (田中こども歯科医院)：絵本の作り方と健常児への活用
 - ③ 杉岡千津 (おおの小児矯正歯科) 絵本の軽度障がい児(者)への応用
 - ④ 三隅純一 (みすみ歯科医院)：絵本の大人への活用
- 7) 一般講演：展示発表
4. 会費：歯科医師 5,000円 歯科衛生士・その他 2,000円 懇親会費：3,000円

第33回日本小児歯科学会九州地方会大会および総会のご案内

(日程) 平成27年11月15日(日曜)

(場所) 福岡県歯科医師会館(予定)

(メインテーマ) 小児歯科における医療連携

(大会長) 柳田 憲一

(大会長補佐) 野中 和明

(準備委員長) 西垣 奏一郎

(事務局) 九州大学大学院歯学研究院口腔保健推進学講座小児口腔医学分野

平成25年度 日本小児歯科学会九州地方会 会計報告

【収入】	単位：円	【支出】	
前年度繰越金	3,199,161	第31回日本小児歯科学会九州地方会 大会援助金	500,000
日本小児歯科学会より入金	768,500	ニュースレター印刷費	73,500
第31回日本小児歯科学会 九州地方会余剰金	216,010	学術・振興費	91,865
利 息	467	30周年記念誌費	344,400
合 計	4,184,138	会議費	90,476
		通信費	184,474
		雑 費	4,935
		予備費（繰越金）	2,894,488
		合 計	4,184,138

上記の決算に間違いのないことを証明します。

会計監査 山崎 要一

会計監査 入江 英仁

第31回日本小児歯科学会九州地方会収支決算報告書

【収入】		
学会本部補助金		500,000円
学会参加登録費	歯科医師 5,000円×245名 コデンタル 2,000円×108名	1,225,000円 216,000円
専門医更新審査料	3,000円×2名	6,000円
当日抄録	500円×52冊	26,000円
懇親会費	3,000円×71人	213,000円
協賛広告費	50,000円×2社 30,000円×4社	220,000円
業者展示費	30,000円×13社	390,000円
利 息		25円
合 計		2,796,025円

【支出】		
印刷費		540,645円
通信費		71,020円
設営費		318,885円
会場費		185,666円
大会運営費		696,737円
講師謝礼		390,000円
講師交通費		131,730円
懇親会費		214,000円
ポスター座長費		12,480円
雑 費		18,852円
余剰金として地方会へ		216,010円
合 計		2,796,025円

上記の決算に間違いのないことを証明します。

会計監査 山崎 要一

会計監査 入江 英仁

平成25年度専門医セミナー開催報告

平成25年度専門医セミナーが、福岡県歯科医師会館（福岡市）で平成26年2月9日（日）に行われました。当日は極寒にもかかわらず多くの専門医先生方が参加しました。最初のセミナーでは、九州歯科大学口腔保健学科口腔保健管理学講座の吉野健一准教授により、「脳機能からみた小児歯科臨床の意義」題する講演があり、脳機能の不思議さ、意識、無意識の問題など、だまし絵などを用いて分かりやすく勉強させて頂きました。また2題目のセミナーでは、福岡女学院

看護大学学長であられる西間三馨先生により「みんなで学ぼう！子どものアレルギー」と題する講演をして頂きました。西間先生は、小児アレルギーの病態と治療に造詣が深く、長年培った知識と治療経験を元に私たちに分かりやすく解説して頂きました。2題とも臨床小児歯科医にとって滅多に聞けない内容であり、本専門医セミナーは私たちにとって有意義な講演会となりました。

平成25年度第1回日本小児歯科学会九州地方会役員会議事録

開催日時：平成25年4月14日（日）12：00～14：00
開催場所：福岡歯科大学口腔医療センターセミナー室

1. 開会の辞を牧副会長が述べられた。
2. 会長挨拶を久芳会長が述べられた。
3. 報告事項
 - 1) 第31回日本小児歯科学会九州地方会大会および総会準備状況について、尾崎先生が以下の内容を説明された。
 メインテーマ：全身と口腔の健康を実践する小児歯科をめざして
 日時：平成25年10月20日（日）8：30～17：00
 場所：福岡県歯科医師会館4・5F
 教育講演：酒井 均（筑紫女学園大学）「(仮) 発達障害について」
 特別講演：原 寿郎（九州大学小児科）「(仮) 免疫について」
 シンポジウム：「(仮) 実践！筋機能訓練」(コ・デンタルスタッフと合同に行う)
 基調講演：大野肅英（横浜市）、シンポジスト：大野歯科医院DH・吉良先生（熊本市）
 他、歯科衛生士の為の講演会も企画している。
 ポスター発表：一般発表・専門医更新用発表
 大会長：尾崎正雄、実行委員長：馬場篤子
 事務局：福岡歯科大学成長発達歯学講座成育小児歯科学分野
 〒814-0193 福岡市早良区田村2-15-1 電話：092-801-0411 FAX：092-801-0692
 - 2) 「楽しく安全に歯みがきをする習慣を身につけよう」リーフレットについて、資料1を参考に奥先生が述べられた。消費者庁から乳幼児の歯ブラシによる事故が多いことから、この事故防止のための資料作成依頼があり、今回のリーフレット作成に至る経緯となった。本会のHPからダウンロード可能とのこと。各関連機関に配布する。
 - 3) 第30回日本小児歯科学会九州地方会大会および総会会計報告について、資料2を参考に行成先生が述べられた。また、託児所設置に関する援助金要請について審議事項で検討依頼の要請があった。
 - 4) 小児歯科学会専門医セミナー開催案内について、資料3を参考に尾崎先生が述べられた。
 - 5) その他では久芳会長より、小児口腔医療研究会の推薦書および専門医指導医（柏木先生）の推薦書を本会に提出した旨報告がなされた。
4. 議長選出：久芳会長より橋本先生が推薦され、満場一致で議長に選出された。
5. 審議事項
 - 1) 平成24年度日本小児歯科学会九州地方会会計報告

について資料4を参考に馬場先生が報告した。

- 2) 1) に対する会計監査報告について入江先生から会計は適性になされていた旨報告があり、1) および2) について満場一致で承認された。
- 3) 平成25年度九州地方会事業計画について資料5を参考に久芳先生が説明された。

会員関係では会員の入退会について、会員の入会、退会につき親学会と連携、協力をを行い、更に研修医などの入会勧誘も積極的に行う。また小児歯科を標榜の開業医、歯科衛生士の入会勧誘に努める

機構整備では、現在牧教授を中心に九州地方会事業及び予算に関する検討委員会にて検討中であり、本会の機構、組織及び運営に関する検討・諸規則、諸規定の検討・策定して整備を図るための検討を引き続き行っていただく。

学術関係では、日本小児歯科学会九州地方会大会及び総会を開催する。また、他地区地方会との共催の検討は積極的に参加を行うこと、昨年沖縄県でおこなわれたような小児歯科医学の研鑽と啓発のための勉強会や研修会を企画すること、宮崎県や大分県、佐賀県などでの開催を検討する。

専門医・認定医制度では、親学会と連携しセミナーの開催など健全なる運営、管理ができるように協力すること、また会員へセミナー参加を促す。

広報関係では、ニューズレターの発行は例年通り行い、本会会務運営の会員への伝達、周知に努める。親学会が運営するホームページの更新に協力する。また本年は各県から1名ずつ広報委員を選出していたが、九州地方会独自のホームページを立ち上げたいと述べられた。

各地方会との協議及び連携では、引き続き地方会連絡協議会に参加すること、託児所を地方会開催時にも設置すること、また他地方会学会に参加し各地方会間の連絡、地方会の問題などを協議し連携を図る。

小児医療の連携では、九州各地域でのこども健康週間などへの協力に努める。

その他、新規事業に予算を配分することで、今年度は30万円の予算を設けている。品川先生から、入会勧誘に関しては小児歯科を標榜の開業医に対して行ったほうが良いこと、山崎先生からも会員数増加は必須であるので入会勧誘を積極的に行ってもらいたいとの意見が述べられ、本事業に関して全員の賛成が得られ承認された。

- 4) 平成25年度九州地方会予算案について資料7を参考に馬場先生が述べた。30周年記念誌の発送代は予備費で対応すること、予算案と共に満場一致で承認された。
- 5) 第32回日本小児歯科学会九州地方会及び総会の開

催について、当日配布資料を参考に牧先生より説明がなされた。

日時：平成26年11月23日（日曜日）、場所：九州歯科大学講堂&本館

大会長：牧憲司、準備委員長：西田郁子、大会長補佐・事務局：森川和政、佐伯桂、藤田優子、メインテーマ：小児期からの咬合育成を考える

特別講演：居波 徹先生（宇治市開業）、山口和憲教授（九州歯科大学顎口腔機能矯正学教授）、教育講演：未定、テーブルクリニック2題、衛生士のためのセミナー（検討中）、展示発表、商業展示

以上の内容は、満場一致で承認された。

- 6) 第33回日本小児歯科学会九州地方会及び総会の開催について、増田先生から説明がなされた。詳細は未定であるが、開催日程は平成27年10月または11月頃、大会長は開業医の先生に交渉中、準備委員長は教室員、講演に関しては交渉中であることが述べられ、満場一致で承認された
- 7) 30周年記念誌について、資料6を参考に藤原先生から説明がなされた。久芳先生から歴代会長の掲載順を変えてもらいたいこと、橋本先生から校正の説明があり、ページ数が若干増えると予算オーバーになるが、予備費で対応すること、URLで原稿を各自ダウンロードして校正を行ってもらうことを全員一致で承認された。表紙は「青空」が多数決で採択された。

8) ニューズレターへの発刊について資料8を参考に石井先生から説明がなされ、満場一致で承認された。

9) 九州地方会事業及び予算に関する検討委員会について、牧先生から現在検討中であることが述べられた。様々な意見が出て継続審議となった。

10) その他、行成先生から地方会開催時に託児所設置に際しての補助金捻出の要請があった。山崎先生から本会では女性小児歯科医委員会にマニュアル作りを依頼していることが述べられ、託児所設置に関して責任の所在やマニュアル作りを含んだことについて女性小児歯科医委員会連絡協議会の先生にお願いして検討してもらうこと、牧先生の検討委員会でも女性の先生も含めて検討していただくこととなった。

本部の委員会報告：牧先生から和文誌を1号減らして英文誌を増やしたこと、オンライン化となったことが報告された。

6. 監事総評：入江先生より、平成25年度の検討がなされ、新規事業費の30万円、予備費等を有効利用していただきたい、会員にわかりやすく説明してもらいたい、託児は女性だけの問題ではないこと、他の学会のモデルになることを希望する。山崎先生より、地方会の予備費をなるべくへらしてもらいたいと述べられた。

7. 閉会の辞：奥先生が述べられ時間通りに閉会となった。

平成25年度第2回日本小児歯科学会九州地方会役員会議事録

日時：平成25年7月21日（日）12：00～14：00

場所：福岡歯科大学口腔医療センターセミナー室

参加者：久芳陽一、牧憲司、奥猛志、藤原卓、山崎要一、尾崎正雄、空田安博、一瀬暢宏、重田浩樹、竹島勇、逢坂亘彦、木船敏郎、井上浩一郎、行成哲弘、入江英仁、西田郁子、馬場篤子、星野倫範、増田啓次、岩崎智憲、岡暁子、石井香

欠席者：野中和明、橋本敏昭、柏木伸一郎（敬称略）

1. 開会の辞を牧副会長が述べられた。
2. 会長挨拶を久芳会長が述べられた。
3. 報告事項
- 1) 第31回日本小児歯科学会九州地方会大会及び総会準備状況について、尾崎教授が資料1を参考に述べられた。
テーマ：「口腔機能と全身の健康をめざして」
期日：平成25年10月20日（日）9：00～16：30（受付開始8：30～）
会場：福岡県歯科医師会館5階
〒810-0041 福岡市中央区大名1丁目12番43号

TEL：092-771-3531 FAX：092-771-2988

大会長：尾崎正雄 準備委員長：馬場篤子

大会内容：

- 1) 教育講演：「発達障害のある子の理解と対応」
酒井 均先生（筑紫女学園大学人間科学部教授）
- 2) 特別講演：「小児免疫疾患と口腔」原 寿郎先生（九州大学医学部小児科教授）
- 3) シンポジウム：「実践！筋機能療法」
- ①基調講演：「MFTの日本への導入から今後の展開」大野肅英先生（横浜市 大野矯正クリニック院長）
- ②シンポジスト1：「今、小児歯科でMFTが必要なわけ」尾崎正雄先生（福岡歯科大学成育小児歯科学分野教授）
- ③シンポジスト2：「歯科衛生士によるMFTの実際」橋本律子先生（横浜市 大野矯正クリニック）
- ④シンポジスト3：「健康はお口から！笑顔あふれるまちづくり—歯磨きの仕上げはいつもベロ

- タッチー」吉良直子先生（熊本市中央区役所 保健子ども課）
- 4) 歯科衛生士セミナー：地方会開催・認定歯科衛生士認定更新地方会研修セミナー
「子どもの口腔成育と食育支援～歯科衛生士の立場から～」北上真由美先生（鹿児島大学歯学部臨床技術部歯科衛生士部門）
- 5) ポスター発表
- ①一般演題発表29演題
- ②専門医・認定医専門医更新用ケースプレゼンテーション2演題
- ③認定歯科衛生士試験ポスター発表1演題
懇親会：AWキッチン（会費3,000円）
〒810-0041 福岡市中央区大名1-14-13 プラザホテルプルミエ1F 午後12時00分～午後1時30分
- 2) 第32回日本小児歯科学会九州地方会大会及び総会準備状況について、牧教授が資料2を参考に述べられた。
テーマ：「夢のある小児歯科を目指して～九州地方会からの発信～」
日時：平成26年11月23日（日） 場所：九州歯科大学 大会長：牧憲司 準備委員長：西田郁子
特別講演 I 居波 徹（いなみ矯正歯科） II 山口 和憲（九州歯科大学 教授）
先輩達からの後輩へのメッセージ（九州歯科大学創立百周年を記念して）
I 柏木伸一郎（小児歯科柏木医員） II 中尾哲之（なかお小児歯科） III 西本美恵子（にしもと小児歯科医院） IV 毛利元治（もうり小児歯科） V 有田信一（ありた小児矯正歯科） VI 品川光春（しながわ小児歯科医院）
テーブルディスカッション（機能的視点に立った咬合誘導）
I 金 俊熙（(医)無窮会さむら矯正歯科クリニック）
II 黒江和斗（矯正歯科くろネクリニック）
衛生士セミナー（絵本を媒体にした歯科診療を実践中の3歯科医院）
懇親会は夕方5時半から行いたいと思う。
- 3) 30周年記念誌について、藤原先生から役員全員に配布された記念誌を見ながら説明がなされた。一般会員には抄録集と一緒に発送される予定です。
- 4) 認定歯科衛生士認定更新の必須研修セミナーについて、久芳先生より資料3を参考に述べられた。歯科衛生委員会委員長の田中先生から、今年度の地方会から認定歯科衛生士「地方会研修セミナー」の開催と認定試験実施についての要望があり、試験委員2名のうち、田中先生と久芳会長で行う事の説明がなされた。
- 5) その他：藤原教授より、本会の事業として科研費
- 研究成果公開促進費が採択されており、北日本大震災の子ども達への支援として市民公開講座を行わなくてはならない。場所と時間を決めたいので何かあればお知らせいただきたい。内容は震災支援ということで、①東北大学の調査結果、②JSPPの活動報告、③産業技術研究所の支援報告を予定していると説明がなされた。尾崎教授より、福岡歯科大学同門会の勉強会が「小児口腔医療研究会」と改名して橋本先生を会長として活動を行うことになったこと、今後の予定の説明がなされた。山崎教授よりIAPDが6月に開催された。全体で1600名の参加中日本からは110名で多かったので主催者から感謝された。3年後のアジア小児歯科学会（東京歯科大学主宰）では韓国から大勢参加すると約束されたと言明がなされた。
4. 議長選出：会長からの推薦で宮崎の井上先生にお願いされた。
5. 審議事項
- 1) 広報委員会の設立について久芳会長から九州地方会独自の情報を発信していきたいという趣旨の説明の後、奥先生から資料4を参考に説明がなされ広報委員会の設立について全員の承認を得た。
- 2) 九州地方会事業及び予算に関する検討委員会について牧教授から資料5を参考に説明がなされた。また学会託児開設に関する費用について本部とは別に今年度の地方会での託児所設置に関して地方会から補助金を出すことは承認された。託児設置に関する地方会からの補助金を今回は上限を十万円として承認された。
- 3) 熊本県における小児歯科研修会開催企画について、逢坂先生より資料7を参考に説明がなされ、日本小児歯科学会九州地方会主催、熊本県歯科医師会後援、という形で開催することで承認を得た。また、このような会を企画することで小児歯科学会会員を増やすよう働き掛けるように山崎教授からお願いがあった。地方会は講師に関わる費用（交通費宿泊費の上限二十万円）を負担するとした。
- 4) 平成26年度九州地方会会長および監事の選出について、久芳先生より資料6を参考に来年度から会長以下役員が変更になり、監事は開業医から2名選出する事、平成26年4月から会長・監事が活動するためには今秋の総会で承認されることの説明がなされ、新しい会長には牧教授、監事は久芳先生、入江先生が推薦された。内規の変更は次回の総会で承認を受けることを確認した。品川先生から新規事業を進めていくためには各々委員会を立ち上げること、藤原教授から若い先生を委員会に起用してもらいたいと意見があり、牧教授が会長で新年度から活動することで承認を受けた。
- 5) その他、岡先生から東日本大震災支援カンパッチ

(あしなが基金)を今秋の地方会でも九州地方会が主体となって販売したいと要請があり、全員の承認を得た。カンパッチの横にJSPの東日本大震災支援の本を販売することも久芳会長から追加された。木船先生から保隙装置の保険点数要望の質問に対して、品川先生から外傷に歯を失った場合の保隙装置、口腔機能では口唇閉鎖指導や開咬症例を矯正治療する前の指導についての点数化を要望を出していることの説明がなされた。事務局

から次回の役員会は10/19土曜日18時から福岡市歯科医師会館第一会議室にて行うことの報告が述べられた。

6. 入江監事から総評が述べられた。30周年記念誌が出来上がったことの謝辞が述べられた。広報委員会の発足など各種問題が徐々に解決されて今後の活動を期待すると述べられた。
7. 閉会の辞が奥先生副会長から述べられ、閉会した。

平成25年度第3回日本小児歯科学会九州地方会役員会議事録

日時：平成25年10月19日（土）午後6時から

場所：福岡県歯科医師会館1階第一会議室

参加者：久芳陽一、牧憲司、奥猛志、藤原卓、山崎要一、尾崎正雄、野中和明、橋本敏昭、品川光春、石谷徳人、柏木伸一郎、空田安博、一瀬暢宏、重田浩樹、竹島勇、逢坂亘彦、木船敏郎、井上浩一郎、行成哲弘、入江英仁、馬場篤子、星野倫範、増田啓次、岩崎智憲、岡暁子、石井香

欠席者：西田郁子（委任状あり）（敬称略）

1. 開会の辞を牧副会長が述べられた。
2. 会長挨拶を久芳会長が述べられた。
3. 報告事項

(1) 第31回日本小児歯科学会九州地方会大会および総会準備状況について、資料1を参考に尾崎大会長が述べられた。一般演題（ポスター発表）は29演題、専門医・認定医専門医更新用ケースプレゼンテーションは2演題、認定歯科衛生士試験ポスター発表は1演題、計32演題の申し込みがあり、教育講演では「発達障害のある子の理解と対応」と題して酒井均先生（筑紫女学園大学人間科学部教授）に、特別講演では「小児免疫疾患と口腔」と題して原寿郎先生（九州大学医学部小児科教授）に御講演をお願いした。シンポジウムでは「実践！筋機能療法」と題して、筋機能訓練の第一人者の大野肅英先生（横浜市 大野矯正クリニック院長）に基調講演「MFTの日本への導入から今後の展開」を、。さらに、治療目的で行う筋機能訓練ばかりでなく、小児の口腔機能育成という面から以下の3名のシンポジストの先生に御講演をお願いした。

シンポジスト1：「今、小児歯科でMFTが必要なわけ」尾崎正雄先生（福岡歯科大学成育小児歯科学分野教授）

シンポジスト2：「歯科衛生士によるMFTの実際」橋本律子先生（横浜市 大野矯正クリニック）

シンポジスト3：「健康はお口から！笑顔あふれ

るまちづくり—歯磨きの仕上げはいつもベロタッチ—」吉良直子先生（熊本市中央区役所 保健子ども課）

また、歯科衛生士セミナー（地方会開催・認定歯科衛生士認定更新地方会研修セミナー）は、「子どもの口腔成育と食育支援～歯科衛生士の立場から～」と題して北上真由美先生（鹿児島大学歯学部臨床技術部歯科衛生士部門）に御講演をお願いした。

- (2) 第32回日本小児歯科学会九州地方会大会および総会準備状況について、資料2を参考に牧副会長が述べられた。「夢のある小児歯科を目指して～九州地方会からの発信～」をテーマに、九州歯科大学にて平成26年11月23日に開催する予定である。また、役員会は前日の22日に行う。大会長は牧憲司先生、準備委員長は西田郁子先生。特別講演は居波徹先生（いなみ矯正歯科）と山口和憲先生（九州歯科大学 教授）をお願いした。九州歯科大学が来年創立100周年を迎えるにあたり6名の先生がたに講演をお願いした。（柏木伸一郎先生（小児歯科柏木医院）、中尾哲之先生（なかお小児歯科）、西本美恵子先生（にしもと小児歯科医院）、毛利元治先生（もうり小児歯科）、有田信一先生（ありた小児矯正歯科）、品川光春先生（しながわ小児歯科医院））テーブルディスカッションは機能的視点に立った咬合誘導と題して金俊熙先生（(医)無窮会 きむら矯正歯科クリニック）と黒江和斗先生（矯正歯科くろえクリニック）をお願いした。衛生士セミナーは絵本を媒体にした歯科診療を実践中の3歯科医院をお願いした。現在順調に準備が行われている。
- (3) 専門医指導医推薦について、久芳会長より長崎大学の佐藤恭子先生を推薦することが述べられた。
4. 議長選出について、久芳会長から井上県代表幹事が指名され全員一致で選出された。
5. 審議事項
- 1) 第31回日本小児歯科学会九州地方会総会式次第に

- ついて久芳会長より資料3を参考に説明がなされ、資料3の通り行うことで承認された。
- 2) 第33回日本小児歯科学会九州地方会大会および総会について増田大学幹事より平成27年11月上旬から中旬にかけての日曜日に開催予定、大会長は開業医の先生にお願いしている旨説明がなされ、承認された。
 - 3) 平成26～27年度役員について、資料4を参考に久芳会長から説明がなされた。会長は牧憲司教授、監事2名は入江英仁先生と久芳陽一先生を役員会で推薦し総会に回る事、また県代表幹事についてはすでに各県で推薦された先生方と会長とで決めて頂くことで承認を得た。
 - 4) 日本小児歯科学会九州地方会広報委員会（案）について資料5を参考に奥副会長から説明がなされ、会員に有益な、かつ経費を節約できるような形のものを作る、また第1回からの地方会抄録集を掲載することで承認を得た。
 - 5) 熊本県における小児歯科研修会開催について、資料6を参考に入江監事より平成25年12月8日（日曜日）9：50～15：30開催予定と
 - 6) 説明がなされ、専門医のポイント申請にするかどうか、会を開催運営するにあたっての経費についての要請があり、早々に専門医委員会にポイント申請を行う事、経費は地方会から捻出することで承認を得た。また、藤原先生から平成26年2月11日に熊本にて公開講座を行うと説明が追加された。
 - 7) 九州地方会事業及び予算に関する検討委員会について、資料7を参考に担当者、活動内容について牧副会長から説明があった。また馬場幹事から託児所は本部からの援助金で設置できることになったと説明がなされ、木船幹事からこどもの健康週間参加について質問があり、久芳会長から各県で温度差があるので引き続き継続審議となることで承認を得た。
 - 8) その他：30周年記念誌を各大学に50部ずつ保存依頼が尾崎常任幹事から依頼され承認された。井上幹事から平成26年4月に小児歯科講演会の企画をしている旨説明があり地方会からの資金援助の依頼があり承認された。コデンタル委員会から今年度は第7回の認定歯科衛生士申請をされた方の審査を実施中。各地方会大会で、認定審査のためのポスター発表が行われるので是非、参考にして下さいと説明がなされた。
 6. 入江監事から今期広報委員会の設立や地方会事業および予算に関する検討委員会の発足など、今後ますます地方会が活性化することを期待すると総評が述べられた。
 7. 閉会の辞が奥副会長から述べられ、閉会した。

平成26年度日本小児歯科学会九州地方会事業計画

1. 会員関係

会員の入退会

- ①会員の入会、退会につき親学会と連携、協力を行う。
- ②小児歯科を標榜の開業医、歯科衛生士の入会勧誘に努める。

2. 機構整備

機構整備に関する検討

- ①本会の機構、組織及び運営に関する検討
本会の機構、組織の改善により運営の効率化を図るための検討を行う。
- ②諸規則の検討
諸規則、諸規定の検討、策定して整備を図る。

3. 学術関係

- ①日本小児歯科学会九州地方会大会及び総会の開催
- ②小児歯科学会の研鑽と啓発のための勉強会や研修会を企画する。

4. 専門医・認定医制度関係

親学会と連携しセミナーの開催など健全なる運営、管理ができるように協力する。

5. 広報関係

- ①ニュースレターの発行
本会会務運営の会員への伝達、周知に努める。
- ②九州地方会ホームページの充実

6. 各地方会との協議及び連携

- ①地方会連絡協議会への出席
- ②各地方会間の連絡、地方会の問題などを協議し連携を図る。

7. 小児医療の連携

こども健康週間などへの協力を努める。

8. その他

新規事業に予算を配分する。

九州地区 5大学講座一覧

大学分野名	主任教授名	郵便番号	住 所	電話番号	FAX 番号
九州大学大学院歯学研究院口腔保健推進学講座小児口腔医学分野	野中 和明	812-8582	福岡市東区馬出 3-1-1	092-642-6400	092-642-6468
九州歯科大学健康増進学講座口腔機能発達学分野	牧 憲司	803-8580	北九州市小倉北区真鶴 2-6-1	093-582-1131	093-583-5383
福岡歯科大学成長発達歯学講座成育小児歯科学分野	尾崎 正雄	814-0193	福岡市早良区田村 2-15-1	092-801-0411 (代表)	092-801-0692 (医局直通)
長崎大学大学院医歯薬学総合研究科医療科学専攻展開医療科学講座小児歯科学分野	藤原 卓	852-8588	長崎市坂本 1-7-1	095-819-7672	095-819-7676
鹿児島大学大学院医歯学総合研究科健康科学専攻発達成育学講座小児歯科学分野	山崎 要一	890-8544	鹿児島市桜ヶ丘 8-35-1	099-275-6260	099-275-6268

九州地区の小児歯科研究会

名称	会長名	事務局	郵便番号	連絡先住所	電話番号	FAX 番号	メールアドレス	地域単位の研修会
小児口腔医療研究会	橋本敏昭	福岡歯科大学成育小児歯科学分野	814-0193	福岡市早良区田村 2-15-1 成育小児歯科学分野内	092-801-0411	092-801-0692	toshikita24-41 @yk2.so-net.ne.jp	○
福岡小児歯科集談会	二木昌人		810-0022	福岡市中央区薬院 4-1-26 薬院大通センタービル 2F ふたつき子ども歯科	092-523-7560	092-523-7540	fc-dental @san.bbiq.jp	×
NPO 法人ウェルビーイング	守山正樹		810-0041	福岡市中央区大名 1 丁目 15-24 Well-Being BLDG 2F	092-771-5712	092-741-8037	jimukyoku @well-being.or.jp	×
月曜会	小島哲一郎 (世話人)		815-0041	福岡市南区野間 1-15-3 アミューゼ南高宮 1F			info @kojima-kyousei.jp	×
北九州市小児口腔保健学会	木村光孝	新生印刷出版社事務センター	800-0206	北九州市小倉南区葛原東 2-5-45	093-473-5555	093-473-5553	mitu320 @nifty.com	×
北九州小児歯科臨床研究会	空田安博		807-0874	福岡県北九州市八幡西区大浦 1 丁目 5-15 そらだ小児歯科医院	093-602-8369	093-602-8381	info @sorada.or.jp	×
佐賀小児歯科研究会	梅津哲夫		849-0935	佐賀県佐賀市八戸溝 3-8-2 うめづ歯科・小児歯科医院	0959-30-2555	0959-30-5566	umedusika @mbn.nifty.com	×
長崎小児歯科臨床医会	行成哲弘	堀内礼子	854-0001	諫早市福田町 37-3 堀内歯科	0957-21-5333	0957-21-5332	aya_dent @yahoo.co.jp	○
熊本小児歯科懇話会	逢坂亘彦	入江英仁	861-3206	上益城郡御船町辺田見 366-1 入江歯科医院	096-282-3188	096-282-3177	e.irie @mail.sysken.or.jp	×
宮崎小児歯科臨床懇話会	旭爪伸二		880-0872	宮崎県宮崎市永楽町 207 番地 -1 わかば小児歯科	0985-27-2003	0985-25-1047	wakaba @miyazaki-catv.ne.jp	×
宮崎障害者歯科懇話会	安部喜郎		880-0834	宮崎市新別府町久保田 683-1 宮崎歯科福祉センター	0985-83-3344	0985-83-3345	d-senter @mnet.ne.jp	×
小児歯科臨床を語る会	奥 猛志		890-0034	鹿児島市市田上 5-4-27	099-214-6471	099-214-6472	dentaman117 @giga.ocn.ne.jp	×
沖縄小児歯科研究会	竹島 勇	加藤真由美	903-0806	那覇市首里汀良町 3-63-3 ハイビスカスマンション 2F くばがわ歯科医院	098-887-6480	098-887-6481	milkyway.6480 @utopia.ocn.ne.jp	×

小児口腔医療研究会の活動報告

会長 橋本 敏昭

本研究会の概略につきましてはすでにお知らせいたしましたので今回は活動状況についてご報告いたします。基本的に年6回程度、開業医の先生方が来やすいように日曜日の午前中に開催しております。第1回目は尾崎教授とご懇意にされておられます愛知学院大学歯学部歯科矯正学教授で当時日本矯正歯科学会理事長の後藤滋巳先生に「混合歯列期からの矯正治療の流れと口腔衛生」、第2回は福岡歯大口腔治療学講座歯科保存学分野教授 阿南 壽先生に「現代歯内治療—IFEA第9回世界歯内療法会議参加報告—」、第3回は長崎でご開業の末竹和彦先生に「顎顔面口腔育成治療とは?—バイオブロックセラピーを中心として」、第4回は福岡歯大総合医学講座小児歯科学分野教授の岡田賢司先生に「小児の感染症とワクチン」、第5回は日韓合同研究発表会「第10回全北大・福岡歯大小児

歯科教室合同論文発表会」、第6回は福岡歯大成長発達歯学講座成育小児歯科学分野 教授 尾崎正雄先生による「小児の虐待とモニターペイシエントについて」、第7回は福岡歯大診断・全身管理学講座麻酔管理学分野教授 谷口省吾 先生による「小児歯科での救急蘇生法」の講演と救急蘇生に関する実習を行いました。今後も会員のためになる講演や実習を行ってゆきます。当研究会は専門医の研修単位の取れる地域単位の研修会として親学会で正式に認定されており、只今会員を募集しております。年会費は正会員2万円、準会員5千円となっております。皆様のご入会、心よりお待ちしております。お問い合わせは、事務局：福岡歯科大学成長発達歯学講座成育小児歯科学分野内 〒814-0193 福岡市早良区田村2丁目15-1 電話092-801-0411（内線656）をお願いいたします。



専門医セミナー開催のご案内

- 日 時：平成27年2月8日（日）
会 場：真鶴会館
〒803-0844 福岡県北九州市小倉北区真鶴1丁目5-15
☎093-571-7861
- 12：00～12：45 受付
12：45～12：50 開会の辞
12：50～14：20 「小児の病気とワクチンについて」
岡田 賢治先生（福岡歯科大学 小児科教授）
14：20～14：30 休憩
14：30～16：00 「小児の虐待について」
花岡 洋一先生（東京歯科大学 法歯学講座 准教授）
16：00 閉会の辞

参加申し込み方法

学会誌に掲載の申し込み用紙をコピーするか学会のホームページ
<http://www.jspd.or.jp/contents/main/meeting/seminar02.html>から申込書を
ダウンロードして記入の上、FAXにて小児歯科学会事務局までお申し込みください。

日本小児歯科学会九州地方会ホームページのご紹介

平成25年度に地方会活動の活性化を目的に日本小児歯科学会九州地方会広報委員会が設立されました。広報委員会は、地方会ホームページ作成ならびに運営、会員情報の把握、他地方会との連携、ニュースレター作成補助等を主な活動内容とします。メンバーは、副委員長に石谷徳人先生、委員として行成哲弘先生、馬場篤子先生にお願いし、私が委員長を務めさせていただきます。広報委員会では、まず、地方会独自のホームページを作成しました。ホームページの作成管理は、本会ホームページ管理業者のメテオに委託しております。ホームページをご覧になられた先生方も多いと思いますが、本会ホームページのメインコンテンツの「地方会案内」をクリック、「九州地方会」をクリックし「九州地方会HPはこちら」をクリックすると九州地方会ホームページが開けます。

メインコンテンツは地方会大会開催のご案内、ニュースレター（地方会会報）、役員名簿、会員連絡、過去の地方会抄録となっています。ニュースレター、過去の地方会抄録には、すべての資料がPDFで保存されており、閲覧できます。ニュースレター、抄録集ともに第1号から欠版もなく収集することができました。品川先生はじめ、役員の方の先生方の資料管理の素晴らしさに感動しました。会員連絡は現在、役員会議事録を掲載しています。今後、研修会の案内など、会員の皆様に有益な情報発信を行っていきたいと思います。ご意見などございましたら、メールにて、奥猛志 dentaman117@giga.ocn.ne.jp までお願いいたします。九州地方会ホームページは下記URLになります。

<http://www.jspd-kyushu.jp/>

日本小児歯科学会九州地方会会則

(平成23年10月10日一部改正)

第1条 本会は日本小児歯科学会九州地方会と称する。

第2条 本会は小児歯科を通じ地域の小児保健の向上に貢献するとともに必要とされる調査研究を行い発表と知識の普及を計ることを目的とする。

第3条 本会の事務局は別に定める所におく。

第4条 本会の会員は九州地区ならびに沖縄県に居住する日本小児歯科学会会員で構成する。

第5条 1. 本会に次の役員を置き、役員会を構成する。

会長 1名

副会長 2名

常任幹事 5名

幹事 若干名

・庶務幹事、会計幹事、広報幹事は本部役員幹事とする。

・次期大会長、地方会推薦理事、本会理事長推薦理事は特別幹事とする。

・大学代表幹事と県代表幹事は一般幹事とする。

・監事 2名（議決権は有さないものとする）

2. 役員任期は、2か年とする。ただし再任は妨げない。

なお、役員は九州地区ならびに沖縄県に居住するものに限る。

第6条 1. 会長は本会を代表し、会務を統括する。

2. 副会長は会長を補佐し、会長が職務を執行できない場合、職務を代行する。

3. 幹事は本会運営に参画し、本会の円滑な運営を計る。

4. 監事は会計および会務を監査する。

第7条 1. 次期会長および監事は、役員会が候補者を推薦し総会で決定する。

2. 県代表幹事は九州地区ならびに沖縄県から選出された代表者とし、その数は各県の会員数に照らし合わせて別に定める。

3. 大学代表幹事は5大学小児歯科講座の推薦によって決定する。

4. 常任幹事は九州地区5大学歯学部小児歯科主任教授とする。

5. 次期役員は総会で決定する。

第8条 本会は毎年1回総会を開き会務の報告、会則の改正、役員を選出、会計報告ならびにその他の議事を決定する。

第9条 本会は毎年1回会員による発表ならびに教育的事業を行う。

第10条 本大会は当日会費を徴収できる。なお会費は開催主体が役員に提出し、裁決にて決定する。

第11条 本会には顧問をおくことができる。

第12条 本会の事務年度は4月1日より翌年3月31日迄とする。

第13条 会務の円滑な運営のため、内規を役員会で定めることができる。

第14条 第8条の規定にかかわらず付則2、内規の変更に関し、役員会において行うことができる。

(付則)

1. 本会則は昭和58年4月から施行する。

本会則は平成20年11月23日から改正施行する。

本会則は平成23年10月10日から改正施行する。

2. 本会の事務局は、平成26年4月1日より下記に置く。

〒803-8580 北九州市小倉北区真鶴2-6-1

九州歯科大学 口腔機能発達学分野

日本小児歯科学会九州地方会事務局

TEL : 093-582-1311 (内線1906)

FAX : 093-583-5383

(内規)

1. 役員会は現在の年2回から必要に応じて年3回開催する。
2. 九州地区各大学においては、現在地方会会長をまだされていない教授の方々が多くなってきていることより、当分の間は大学の教授と開業医が交互に九州地方会会長として選出されることが望ましい。
3. 副会長は大学、開業医からそれぞれ1名選出する。監事は2名選出する。
4. 日本小児歯科学会への地方会推薦理事は会長が推薦し、役員会で承認する。
5. 一般幹事は、大学代表幹事(5名)と県代表幹事、福岡(2名)、長崎(1名)、熊本(1名)、大分(1名)、佐賀(1名)、宮崎(1名)、鹿児島(1名)、沖縄(1名)の計14名とする。
6. 幹事選出にあたっては、大学代表幹事は各大学の推薦による。また、各県代表幹事は各県下所属の会員による推薦によって選出する。ただし、推薦の結果や各県の事情によって決定に至らなかった場合は九州地方会会長に一任とする。将来においては、各地域において推薦された人を対象として選挙を実施し決定する方向が望ましい。
7. 幹事としてその任に対して十分にその責任を遂行

できないと判断された場合は、九州地方会会長は注意勧告することが出来る。さらに改まらない時は役員会の合意を得て、推薦団体に対して責任を果たせる人選を依頼することができる。

8. 九州地方会本会からの大会援助金は一律50万円とし、大会長の要請があれば支出することができる。
9. 大会前日の役員会会議費は九州地方会会計から支出することとする。
10. 歯科医師の当日会費は一律5,000円とする。
11. 学会活動の活性化のため、大会開催以外の予算措置を含めた事業計画を立案し、役員会の承認により実施する。

平成26～27年度役員会名簿

役 職	氏 名	所 属	役 職	氏 名	所 属
会長, 常任幹事	牧 憲司	九州歯科大学	県代表幹事	行成 哲弘	長 崎
副会長, 九州地方会特別幹事	奥 猛志	鹿 児 島	県代表幹事	京極 絵美	熊 本
副会長, 常任幹事	尾崎 正雄	福岡歯科大学	県代表幹事	木船 敏郎	大 分
常任幹事	野中 和明	九 州 大 学	県代表幹事	井上浩一郎	宮 崎
常任幹事	藤原 卓	長 崎 大 学	県代表幹事	重田 浩樹	鹿 児 島
常任幹事	山崎 要一	鹿 児 島 大 学	県代表幹事	竹島 勇	沖 縄
大学代表幹事 (庶務幹事)	西田 郁子	九州歯科大学	九州地方会特別幹事	空田 安博	福 岡
大学代表幹事	西垣奏一郎	九 州 大 学	九州地方会特別幹事	橋本 敏昭	福 岡
大学代表幹事	馬場 篤子	福岡歯科大学	九州地方会特別幹事	品川 光春	長 崎
大学代表幹事	星野 倫範	長 崎 大 学	九州地方会特別幹事	石谷 徳人	鹿 児 島
大学代表幹事	佐藤 秀夫	鹿 児 島 大 学	監事	久芳 陽一	福 岡
県代表幹事	石井 香	福 岡	監事	入江 英仁	熊 本
県代表幹事	柏木伸一郎	福 岡	会計幹事	佐伯 桂	九州歯科大学
県代表幹事	田中 克明	佐 賀	広報幹事	大倉秀一郎	大 分

吉田 穰名誉教授ご逝去

福岡歯科大学の吉田穰名誉教授が平成26年2月3日に逝去されました。吉田先生は、昭和58年5月から昭和63年3月まで二期にわたり初代日本小児歯科学会九州地方会会長として九州地方会の礎を築いてくださいました。満期退職後には、福岡歯科大学名誉教授の称号が授与され、また、平成13年には勲四等瑞宝賞を受賞されました。享年89歳。合掌。



編集後記

本年度、ニュースレター作成を担当する事になりました。半世紀以上生きると持病の一つや二つはでてくるもので、健康管理と日々の診療に明け暮れるこの数年でしたが、地方会の運営に携わることができ、心身ともに良い刺激になっているようです。役員会では、理事の先生がたの地方会への真摯に取り組んでいるお姿に元気を頂き、感謝、感謝です。

広報理事 大倉秀一郎